

美術館評価調書

(その1)

函館美術館

【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	14.0%	10.6%	75.7%	d	・常設展（年3回展示替え）、特別所蔵品展（年1回）、ホール・野外での常設のほか、教育普及事業（出張アート教室）において活用を図ったが、目標は達成できなかった。
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					・貸出点数0点
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				b	・受贈：13作品（油彩4、水彩・素描1、書8） ・地域の所蔵者やアートギャラリー北海道の連携施設等との密接なコミュニケーションを図ることにより、受贈での収集につなげることができた。とりわけ日本を代表する書家である中野北溟の複数の作品を受贈するなど、当館コレクションの充実を図ることができた。 ・今後も収集方針に基づき、コレクションの充実を図るため、引き続き、現在活躍中の作家や近年亡くなった作家の遺族とのコミュニケーションを深めることなどにより、収集につなげていく。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				b	・昨年度に引き続き、第1・第2収蔵庫において、作品の点検を実施した。点検では、作品の状態・キャプション等の確認や整理を行うとともに、必要に応じてキャプションの修正等も行った。これらの取組により収蔵庫内の整理整頓が図られ、作品保管状況の改善につながったが、作品点数が多いため、今後も取組の継続が必要である。 ・定期的な作業として、虫害トラップの設置と捕虫状況の確認、年2回の収蔵庫の清掃、荷解室入口・収蔵庫入口・トラックヤード上がり口への粘着シートの設置などを行った。

【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント（評価の考え方）
C	コレクションの活用については、常設展及び特別所蔵品展で可能な限り所蔵作品の展示に努めたが、展覧会の回数減などから稼働率が大幅に下がった。また、他の美術館等からの依頼がなく、作品の貸出しはなかった。作品の収集については、作品の所蔵者と密接なコミュニケーションを図ることで、日本を代表する書家である中野北溟の複数の作品を含む13点の作品を受贈により収集できた。 収蔵庫内の作品保管状況については、学芸員による点検等の実施により、適正な保管環境を確保することができた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その2)

函館美術館

【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
常設展示の充実度	常設展示観覧者数（人）	18,000人	8,719人	48.4%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響（臨時休館等）により、目標を達成できなかった。 ・満足度は目標を達成したが、リピート率は目標を若干下回った。 ・昨年度から始まった北海道リモート・ミュージアムの取組として、今年度も常設展示の一部作品を紹介する動画を作成・公開したが、今後とも常設展示への興味・関心を高めるための取組の継続が必要。
	常設展示観覧者の満足度（%）	67.5%	87.0%	128.9%		
	常設展示のリピート率（%）	62.0%	52.6%	84.8%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数（人）	27,000人	19,267人	71.4%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響（臨時休館等）により、目標を達成できなかった。 ・満足度、リピート率とも目標を若干下回った。
	特別展示観覧者の満足度（%）	90.3%	84.2%	93.2%		
	特別展示のリピート率（%）	66.1%	58.8%	89.0%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施				C	<ul style="list-style-type: none"> ・当館単独での取組に加え、五稜郭地域の文化施設を含むアートギャラリー北海道連携施設との協働による事業（相互割引等）を実施し、来館者数の底上げを図った。中でも前年度は中止とした新規事業のスタンプラリーを実施し、各連携施設（14施設）で台紙を多数配付したほか、各賞への応募が一定数あった。 ・新型コロナウイルスの影響で外国人の入国が制限される中、昨年度に続き、函館港クルーズ客船入港予定が全てキャンセルとなり、函館市に依頼し入港に合わせて特別展のちらし等を配布する取組は実施できなかった。 ・今後とも、引き続き、アートギャラリー北海道連携施設との取組を充実させるなどして、地域全体の魅力をPRし、来館者の底上げにつなげていく必要がある。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか				C	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者に展示のねらいを的確に伝えるため、分かりやすい展示と解説文等の充実に努めたが、来館者アンケートの特別展示の満足度が目標値を下回っており、今後、更なる改善を図っていく。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	設定なし			d	<ul style="list-style-type: none"> ・館外展示の充実については、引き続き、検討していく。
	その他の館外展示の状況					

【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント（評価の考え方）
D	<p>昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大による臨時休館等の影響で、観覧者数が目標を達成できなかったほか、感染拡大防止のため、当初の予定から取組の中止や内容の変更をせざるを得ないケースが生じた。</p> <p>今後とも、展示等取組の充実に努めるとともに、依然として、特別展示と常設展示の観覧者数に大きな差があることから、特別展示から常設展示の観覧につなげるため、常設展示への興味・関心を高めるための更なる工夫・改善が必要である。</p>

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標（計画）を達成している	b	B
目標（計画）をほぼ達成している	c	C
目標（計画）を達成できていない（努力が必要）	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その3)

函館美術館

【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	56回	45回	80.4%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初計画していた事業の中止や回数・内容等の変更を余儀なくされ、事業ごとに定員制を導入したり、展示室内で実施する学芸員による解説を講堂で行う形に変更したりするなど、感染防止に万全を期した。また、展覧会の内容に応じたワークショップや美術映画会の開催など、子どもから大人まで様々な世代を対象とした事業を企画し、多様な学習機会を提供した。 ・上記のとおり、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業の中止や回数減の対応をせざるを得ず、実施数及び参加者数については、目標を達成できなかった。満足度は概ね目標を達成した。
	教育普及プログラムの参加者数（人）	3,611人	3,331人	92.2%		
	教育普及プログラムの満足度（%）	98.1%	93.5%	95.3%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	1,230人	人	0.0%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度から引き続き、図書コーナーを通年休止としたため、利用者件数等はなし。 ・ホールや展示室内に設けていた展覧会関連図書の閲覧コーナーについても、感染拡大防止のため、昨年度同様、閲覧中止とした。
	ARS、図書コーナーの利用者満足度（%）	68.7%	0.0%	0.0%		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	127,778件	151,305件	118.4%		<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会や教育普及事業開催に係る記事の積極的な掲載により、アクセス数は高い水準を維持している。
	メールマガジン等発行回数	実施なし				
	ソーシャルメディアの投稿数	90回	104回	115.6%		<ul style="list-style-type: none"> ・教育普及事業の案内や実施状況等をFacebook及びTwitterに投稿し、可能な限り情報提供に取り組み、目標を上回った。
	情報発信の状況					<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外では、道民カレッジ連携講座、HAKODATEまなびとと広場に各種事業を登録。また、報道機関（新聞社、テレビ局、ラジオ局）へのPRを行い、積極的な報道協力を得ている。 ・新型コロナウイルスの影響で外国人の入国が制限される中、昨年度に続き、函館港クルーズ客船入港予定が全てキャンセルとなり、函館市に依頼し入港に合わせて特別展のちらし等を配布する取組は実施できなかった。

【基本的運営方針】 Cの評価

評価	コメント（評価の考え方）
C	<p>教育普及事業の充実については、昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染防止策を講じながら、展覧会の内容に応じた多彩なプログラムの実施により、一定の成果が得られている。</p> <p>また、ホームページ等を活用した情報発信を継続し、美術館に係る情報提供の充実を図った。</p>

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その4)

函館美術館

【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
調査・研究の充実度	学芸員による調査報告	/	/	/	a	・収集方針に基づく作家、作品の調査研究を行い、優れた作品の収集に結びつけることができた。また、学芸員による道南ゆかりの作家研究の成果として「国松登展」を実施し、それまでよく知られていなかった作家の側面に光を当てた内容構成により好評を得た。
	二次資料の状況	/	/	/		

【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント（評価の考え方）
A	美術館活動の推進のため、各分野における調査・研究に着実に取り組み、一定の成果を上げている。特に、当館における運営の重点の一つである「道南の各分野の美術に関する調査・研究」について、国松登展の実施により大きな成果を上げることができた。今後も更なる充実が図られるよう、一層努めていく必要がある。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その5)

函館美術館

【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	268人	53人	19.8%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、ボランティア研修会は中止とし、展覧会ごとに開催するボランティア向けの「美術研修会」は4回開催予定のうち2回を中止し実施した2回も定員制としたことから、ボランティアの参加者数は目標を大きく下回った。 ・地元高校の地域探求学習の一環として、高校生を受け入れ、教育普及事業の運営補助として積極的な協力を得た。 ・ボランティア団体への日常的な指導・助言、役員との密接な打合せを継続するとともに、協働企画などを積極的に推進した。 ・事業の運営や講師等として地域の人材に関わっていただくことで、活動の場を提供することができた。 ・新型コロナウイルス感染拡大の状況下において、可能な範囲で地域のアートギャラリー北海道連携施設等と連携を図る中、継続事業に加え、新たにどうなんアートルインクスタンプラリーを実施することができた。
	ボランティアが活動しやすい場の提供					
	地域と連携した取組の状況					
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	1校	校	0.0%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度からパートナーシップメンバー校が0校となった。今後、新たな提携先の掘り起こしが必要。 ・実施校の規模により参加者数は目標を下回っているが、檜山管内せたな町の中学校1校で実施した。 ・昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、夏季及び冬季休業期間中に1回ずつ予定していた指導者研修は中止となったが、展覧会ごとに開催の「教員のための鑑賞研修」は、予定していた3回全て開催することができた。 ・小学校：解説 0件 ・中学校：解説 2件 ・高等学校：解説 1件 ・特別支援学校：解説 1件 ・大学：博物館学講座 2件
	出張アート教室の延べ参加者数	71人	24人	33.8%		
	指導者研修の延べ参加者数	64人	16人	25.0%		
	学校教育活動への対応数	18件	6件	33.3%		
	参加者・利用者満足度					

【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント（評価の考え方）
C	昨年度から引き続き、コロナ禍の影響がある中で、地域・学校との連携・協働については、一部取組の中止や内容変更等が必要となったが、可能な限り、働きかけや活躍機会の提供等を行い、一定の成果を上げた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その6)

函館美術館

【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
附帯施設の充実度	カフェ利用者の満足度（%）	62.3%	.0%	0.0%	d	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止のため、昨年度から引き続き、カフェを休止とした。 ・美術館とカフェ等経営主体のボランティア団体役員とが感染拡大防止策を含む諸課題の解決に向けて緊密な連携を図った。 ・ショップ利用者の満足度が目標値を下回っており、スタッフとして接客するボランティア団体新規会員も増えていることから、今後、接客スキルの習得や歓待意識の醸成に向けた取組が必要である。 ・ショップでは、美術館とボランティア団体が協力し特別展に合わせたグッズを販売したほか、カフェが休止中のため、カフェで使用していたものと同じコーヒー豆やクッキーを販売商品に加えた。
	ミュージアムショップ利用者満足度（%）	69.8%	47.4%	67.9%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度（%）	86.2%	73. %	84.7%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新型コロナウイルス感染防止策として、十分な換気やマスク着用・咳エチケット・手指消毒等の要請、館内各所への消毒液の設置、コンコースへのサーモグラフィ装置の設置、手を触れる場所・貸出用ベビーカー・貸出用車椅子等の消毒の徹底などを実施し、来館者の安全確保に努めた。 ・子育て世代も利用しやすい環境整備の一環である日曜日午前中のファミリータイムの取組は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度同様、優待割引のみの実施とし、絵本コーナーは休止とした。 ・アンケートの結果について、スタッフで随時情報共有することにより、来館者対応時の課題意識を高め、改善に役立てた。
	ホスピタリティ向上に向けた取組					
施設環境の保持	施設内外の環境への満足度（%）	77.7%	72.7%	93.6%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全管理のため、日常の点検や巡回等により随時確認を行った。 ・設備については、委託業者と緊密に連絡を取りながら、補修箇所を確認し、必要に応じて補修工事を実施した。 ・業務委託の警備員・清掃員・設備管理員やボランティアと連携しながら、避難訓練（火災）を実施しているほか、安全管理マニュアルによる危機管理の徹底を図った。
	施設安全性保持のための必要な措置					

【基本的運営方針】 F の評価

評価	コメント（評価の考え方）
D	<p>社会教育施設として、良質なサービスの提供及びホスピタリティ向上に努め、特別展に合わせたグッズの販売をはじめとした物販の充実などにも取り組んだ。これまでボランティアに対する啓発活動を継続してきたが、新規会員が増えてきており、改めて接客スキルの習得や歓待意識の醸成等に向けた取組が必要である。また、施設の安全性を確保するため、日常的に維持管理に取り組み、必要な補修工事等を実施しているが、今後、施設設備の老朽化などの課題を踏まえ、計画的かつ効率的に対策を講じていく必要がある。</p>

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標（計画）を達成している	b	B
目標（計画）をほぼ達成している	c	C
目標（計画）を達成できていない（努力が必要）	d	D
方法に再検討が必要	e	E